

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。



がんばれ！「南富高カヌー部」(6月7日)

第8回北海道高等学校カヌー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会カヌー競技北海道予選会がかなやま湖で開催され、地元南富良野高等学校カヌー部などから8名の選手が出場しました。

競技は男女別、艇の種類ごとの500m・200mの種目に分かれ、選手のみなさんは懸命にゴールを目指しました。予選を見事突破した地元カヌー部6名は、7月31日から大分県豊後高田市で開催される全国大会に出場することになっています御健闘を祈ります

- 南富良野高カヌー部全国大会出場選手
- ・金澤駿吾選手・安西孝典選手
 - ・須甲真悠選手・黒田莉奈選手・小日向沙耶選手
 - ・藤原幸乃選手



緑化事業に役立てて(6月7日)

南富良野中学校(亀井雅秀校長)では、毎年生徒会(大野尊会長)で緑の羽根募金を全校児童に呼びかけています。このほど、生徒会役員が池部町長を訪問し、募金が手渡されました。池部町長は皆さんの大切なお小遣いから集めていただき大切に使用させていただきますと感謝の言葉を述べていました。



国際交流事業報告会(6月10日)

町教育委員会主催の国際交流派遣事業に南富良野高等学校(校長:野呂俊夫 生徒数78名)では、4人が参加し、同校で報告会が開催されました。

3月23日から2週間オーストラリアへ短期留学して、生活環境や、学校生活、ホストファミリーでの食文化などを発表しました。



清拭用タオルを寄贈(6月21日)

J Aふらの南富良野支所女性部(及川昌江部長)から、このほど慈善活動の一環として、特別養護老人ホーム一味園(間木野博美園長)に清拭用タオルなど128枚を寄贈されました。園を代表して奥田壽枝子さんから「沢山頂きありがとうございます」と感謝の言葉を述べられました。

田植えで先人の苦勞を体験(5月28日)

稲作農業を体験して、先人の苦勞や勤勞の大切さ、地域主産業への理解を深めることを目的に、下金山小学校11名と金山小学校7名の児童が合同で田植えを体験しました。

はじめに、地元下金山で水田を耕作している永井博さんから水田の歴史や苦勞話し、田植え方法について講話を受けた後、さっそく児童の皆さんは水田に入り、手足を泥まみれにしながら丁寧に「はくちようもち」の苗を植えていました。

秋には刈取りの体験も計画されており、強く丈夫な稲で育つことを希望しながら、今後の生育が楽しみな様子でした。



町交通安全協会総会開催(5月31日)

町交通安全協会では、定期総会が開催され、事業計画と予算が各支部から出席された代議員により承認され、交通事故死ゼロに向け交通安全啓発活動を展開する事となりました。また来賓として出席した座間幾寅駐在所長は、昨年発生した2件の死亡事故を、本年はゼロになるよう取り組んで行きましようとの挨拶がありました。なお平成元年から24年間の永きに渡り会長職を務めてこられました、渡邊龍幸氏が御勇退され、新会長に秋元忠氏が就任されました。



高松昌弘氏北方領土ビザなし交流に参加(5月30日~6月3日)

道内から元島民ら64名の一人として北方領土復帰期成同盟上川支部会員、色丹島訪問団として参加されましたので、ご紹介いたします。チャーター船「えとぴりか」1,124tで根室港から7時間半で色丹島に着き、海岸で地元の学生と合同で清掃を行うなど地域の人と交流を行い、島の様子は道路は舗装されていなく島で走っている車の大半は日本製中古車でした。平成6年の北海道東方沖地震により色丹島の経済基盤の中心となっている水産加工場の大半が崩壊し、住宅や船の崩壊なども多くあり、近代的状況は見られませんでした。人口は本町と同じ2,800人。面積は本町の3割程度と話されていました。

老人クラブの皆さんが熱戦を展開(6月4日)

町老人クラブ連合会が主催するゲートボール大会が、幾寅老人憩いの家前ゲートボール場で行われました。

大会には、町内各地区の老人クラブで構成された5チーム25名の選手の皆さんが出場し、上位3チームに与えられる富良野沿線老人クラブ選抜ゲートボール大会への出場権をかけて、熱戦が展開されました。競技の結果、優勝は「金山:ひなげし」、第2位は「北落合・落合連合:北合」、第3位は「幾寅:ヘルシー」になりました。

